

5 足立区立S小学校(東京都)

学校概要

■ 規模

学級数	15学級
児童数	506人
教職員数	36人

■ 周辺状況・特徴

- 小学校は、古くから栄えた商業地域にあり周囲をマンションに囲まれている。
- 最寄り駅前の再開発により以前にも増して賑わっている。
- JR(常磐線)地下鉄(日比谷線、千代田線)東武線、つくばエクスプレスが最寄り駅に乗り入れている。

- 周囲をビル、マンションに囲まれており複合施設として区の温水プールを地階に持つ。



小学校外観

取組のきっかけ

- 足立区教育委員会では、犯罪被害に対する安全対策を優先的な政策課題として、防犯に関わるソフト、ハードの施策を積極的に進めてきている。
- 同教育委員会では学校施設の防犯対策に特化した点検・改善マニュアルは作成していないが、区内の学校は、「火災時・地震時や不審者侵入時における緊急対応マニュアル」により、毎月1回避難訓練と安全点検を実施している。
- 避難訓練では、実際に防犯施設を使用するとともに、校舎・教室の点検を実施している。

- S小学校においては、特に防犯施設に関する点検・改善マニュアルは作成していないが、毎月の避難訓練の中で緊急通報装置を使用し、安全点検の際に施錠装置等の点検が行われている。

緊急対応マニュアル

- 平成18年度に、緊急通報システムを活用した地震時における緊急対応マニュアルと不審者侵入時における緊急マニュアルを策定している。

現状の把握と課題の抽出

(マニュアル・チェックリストの活用)

- 地震時における緊急対応マニュアルと不審者侵入時における緊急マニュアルにより毎月避難訓練と安全点検を実施している。そのうち年に1回は避難訓練を地域に公開している。
- 避難訓練では、緊急通報システムを実際に使用し、装置の作動状態を点検している。
- また、安全点検では、校舎・校庭の各室・部位ごとに担当教職員を決めている。各担当教職員はチェックリストにより各室・部位の点検を行い、不具合があれば施設管理者(副校長)に報告して



昇降口横の受付カウンター廻り

いる。

- 予算面などから学校が直ちに改善することができないものは、学校から区教育委員会各担当者へ連絡調整の上、対応している。



緊急通報システム モニター部



緊急通報システム 表示装置部

改善措置の実施

- 点検の結果、不具合が見つかった場合、校長裁量経費の範囲であれば、学校の判断により緊急的な改善を実施できる。
- さらに、毎年11月から12月にかけて、次年度整備計画用の施設点検を各学校が実施し、区教育委員会としても施設ニーズを把握している。
- 施設の改善は、特定の学校だけの改善を図るのではなく、区内全校を対象としている。
- 区内全校を対象とした改善のきっかけの一つは、東京都における防犯カメラ設置の補助制度の創設

である。

- この補助制度の創設を踏まえ、区教育委員会の政策委員会において、防犯対策を優先課題に位置づけ、特別枠予算を確保して、次のような改善対策を平成17年度から段階的に実施している。

防犯カメラの設置

オートロック施設、モニター付きインターホン

門・塀の1.5mまでのかさ上げ

点検 改善の取組の周知、見直し

- 小学校では、来訪者の受付管理の体制を補完するために、教職員が校内での来訪者への声掛けを積極的に実施し、不審者進入への対応をソフト面から強化を図っている。

周辺地域との連携

- 区内B小学校で平成15年度に地域からの寄付(1/2)を受けて緊急通報システムが導入され、更に平成16年度には、C小学校で同様に寄付(全額)により同システムが導入された。S小学校では平成17年度に同システムが導入された。
- 今後、区教育委員会としては、学校改築等の際に、緊急通報システムを設置するよう検討している。

今後の課題

- 地域との連携を一層進め、毎月の安全点検や避難訓練の実施を継続し、今後とも地域との連携を充実させる。

研究会コメント

- 教育委員会が学校における避難、安全に関する対策の必要性を認識し、施設的な対応への努力がなされている。
- 毎月の避難訓練、安全点検を中心として、施設の点検が組織的かつ定期的に実施されている。教職員の防犯対策に対する意識は高く、地域との連携の良が見られる。